

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 令和 7 年 3 月 26 日 (2025.3.26)

【公開番号】 特開 2023-154616 (P2023-154616A)
【公開日】 令和 5 年 10 月 20 日 (2023.10.20)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-198
【出願番号】 特願 2022-64059 (P2022-64059)
【国際特許分類】

C 0 8 F 2 8 3 / 0 1 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 3 G 9 / 0 8 7 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 3 G 9 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

C 0 8 F 2 8 3 / 0 1

G 0 3 G 9 / 0 8 7 3 3 1

G 0 3 G 9 / 0 8 7 3 2 5

G 0 3 G 9 / 0 8 3 8 4

【手続補正書】

【提出日】 令和 7 年 3 月 17 日 (2025.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

不飽和結合を有する重合体 (A) の存在下で付加重合性モノマーと両反応性モノマーとを付加重合させる工程 A、並びにカルボン酸成分及びアルコール成分を含む重縮合性モノマーを重縮合させる工程 B を含み、該工程 A と該工程 B を同一反応容器中で行う、重縮合系樹脂セグメントと付加重合系樹脂セグメントが両反応性モノマーを介して結合したトナー用結着樹脂の製造方法であって、前記不飽和結合を有する重合体 (A) を構成する不飽和結合を有する単量体の物質量が、付加重合性モノマー、両反応性モノマー及び重縮合性モノマーの合計量 1g に対して $5.0 \times 10^{-5} \text{ mmol}$ 以上 $2.0 \times 10^{-2} \text{ mmol}$ 以下である、トナー用結着樹脂の製造方法。

【請求項 2】

不飽和結合を有する重合体 (A) の重量平均分子量が、1,000 以上 1,000,000 以下である、請求項 1 記載の製造方法。

【請求項 3】

工程 A における不飽和結合を有する重合体 (A) の使用量が、重縮合系樹脂セグメントと付加重合系樹脂セグメントの合計量 100 質量部に対して、0.01 質量部以上 2.8 質量部以下である、請求項 1 記載の製造方法。

【請求項 4】

不飽和結合を有する重合体 (A) が、ポリエステル樹脂又はポリエステル樹脂セグメントとスチレン系樹脂セグメントを有する複合樹脂である、請求項 1 記載の製造方法。

【請求項 5】

不飽和結合を有する重合体 (A) がフマル酸及びマレイン酸の少なくともいずれか由来の構成単位を有する、請求項 1 記載の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 いずれか記載の方法により得られたトナー用結着樹脂を、水系媒体中に分

10

20

30

40

50

散させて、樹脂粒子を得る工程（Ⅰ）と、該樹脂粒子を凝集及び融着させてトナー粒子を得る工程（Ⅱ）を含む、静電荷像現像用トナーの製造方法。

10

20

30

40

50